

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	文屋 典子	職名	講師	学位	修士 (社会学) (関西学院大学 1994 年)
----	-------	----	----	----	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
社会福祉学	ソーシャルワーク方法論、 子ども家庭支援 ファミリーソーシャルワーク

研 究 課 題
子ども家庭支援における社会構成主義的アプローチの可能性

担 当 授 業 科 目
相談援助の理論と方法Ⅱ (通年) 相談援助実習指導Ⅰ (通年) 相談援助実習指導Ⅱ (通年) 相談援助実習 (通年) 保育実習指導Ⅲ (通年) 保育実習Ⅲ (通年) 相談援助演習Ⅱ (前期) 家庭支援論 (前期) 社会的養護内容 (前期) 保育者論 (後期) ソーシャルワーク演習 (後期) 専門研究Ⅰ (通年) 専門研究Ⅱ (通年)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 相談援助の理論と方法Ⅱ 】 ソーシャルワーク実践におけるミクロ・メゾ・マクロの多角的視点と相互作用の視点を理解すること、問題に直面した人々の状況を「人と環境との接点における相互作用として」理解する視点を涵養することに重点をおいた。ソーシャルワークのアプローチについては、それぞれの基盤理論をふまえ具体的な事例を用いることによりアセスメントや介入における各アプローチ固有の視点を理解することに重点をおいた。
授業科目名【 相談援助実習指導Ⅰ 】 子どもの発達や特性、障害の理解、実習施設の役割と機能、援助の実際について、相談援助実習において必要となる知識や技術を資料や視聴覚教材による学習を中心に学びを深めた。新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、今年度も見学実習を実施することができなかったが、多様な教材の活用によって児童・障害児領域の現状と課題を理解し、3 年時の実習に向けて意識・態度の形成と必要な知識を身につけることができるよう努めた。
授業科目名【 相談援助実習指導Ⅱ 】 実習前の事前学習では個別指導を強化し、各自の関心事と実習で学びたいこと、準備性をふまえたうえで実習課題を各自が明確化できるよう指導を行った。2 年次の「指導Ⅰ」の最終回の授業にて、春休みに自主的に取り組むべき学習課題を示したが、全ての学生が春休み中にこれに取り組み、オンラインで自主的に提出する

など、意欲の高さが見られる学生たちだった。新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる社会的状況から、実習延期が繰り返されたため、学生のモチベーションを支えることが教員側の重要な課題であった。12月中旬にはすべての学生が180時間の実習を終えられたため、実習後の振り返り、報告を一人ずつ行い、実習での学びや考察したことをクラス全体で共有、全体実習報告会での領域報告の準備を全員で協力して行うことができた。
授業科目名【 保育実習指導Ⅲ 】 これまでの保育実習やさまざまな授業を通して学んできたことを整理し、自身の課題をふまえて実習目標を設定するために個別指導を強化した。視聴覚教材を用いて実習施設の役割・機能や対象者理解について知識を確認し、実習記録の方法について個別指導を行った。実習期間中の巡回指導や実習後の振り返りにおいては、学生の学びや課題を整理し実習報告会を実施、実習のまとめを行った。
授業科目名【 相談援助演習Ⅱ 】 事例についてのグループディスカッションを通して相談援助の理論や技術について学ぶと同時に、援助関係形成のためのコミュニケーション技法やよりよい援助を実践するために協働するための技術、その重要性を実践的に学ぶことに重点をおいた。事例の選定においては、倫理的ジレンマの生じる場面等が含まれるものを用意することで、専門職としての価値観や倫理観について深く考察し、他者の考えを踏まえて自分自身に問いかける経験ができるよう授業を展開した。
授業科目名【 家庭支援論 】 現代の家族を取り巻く状況を概観し、保育士に求められる家庭支援、保護者支援の方法と基盤となる法制度、活用する社会資源について保育の既習科目やソーシャルワークに関する知識や理論と関連づけて解説を行った。家族をめぐる価値観の多様性にも触れつつ、家庭支援に求められる援助者の姿勢や視点を涵養することに努めた。
授業科目名【 社会的養護内容 】 子ども家庭福祉や社会的養護に関連する既習科目の知識を確認しつつ、社会的養護事例に関する考察・検討を通して実践的理解を深めた。事例の選定にあたっては、アセスメントにおいて多角的な視点と身体・心理・社会的側面が相互に作用して問題状況を維持していることに着目し、解決の方法についてあらゆる社会資源の活用の可能性を検討することが求められる事例を採用した。遠隔授業であっても学生間のディスカッションが深まるよう配慮し、学生自身の気づきを引き出しつつ事例検討の視点やポイントを示すことによってファシリテートを行った。
授業科目名【 保育者論 】 子どもと家庭の支援に携わる専門職として、保育士に求められる姿勢や知識・技術について解説し、福祉学科で学ぶ意義、ソーシャルワークや心理学等の知識と関連させることの重要性、強みを伝えることでこれからの大学での学びに対する学生の意欲につながるよう努めた。保育者の職務内容と実際の子どもの姿を具体的にイメージできるよう視聴覚教材を用いると同時に、観察や記録を専門的学びの導入として実践し、保育者に求められる文章上の表現方法や観察の視点についても触れることで意識づけを行った。
授業科目名【 ソーシャルワーク演習 】 ソーシャルワーカーの視点、ソーシャルワークの価値と倫理、相談援助におけるコミュニケーション技法、ソーシャルワークの展開プロセスについて取り上げる科目であるが、理論系科目より先行して教授する科目であるため、専門的な用語や概念についての説明を丁寧に行うと同時に、事例やグループワークを活用したアクティブラーニングにより、今後、専門科目で学ぶ内容を理解し吸収する土台を形成することをねらいとして授業を展開した。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本社会福祉学会		1992年10月～ 現在に至る
日本キリスト教社会福祉学会		2001年3月～ "
日本ブリーフサイコセラピー学会		1991年11月～ "
日本家族研究・家族療法学会		1998年11月～ "
日本小児保健学会		1997年5月～ "
日本特殊教育学会		1999年8月～ "
日本保育学会		2011年10月～ "

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
重篤な疾患や重度の障害を抱える子どものきょうだいに対するパフォーミングアーツを活用した支援の検討	西南女学院大学	○笹月 桃子 (野井 未加) 文屋 典子 山本 佳代子 樋口 由貴子	1,151,780

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
社会福祉法人喜久茂会 北九州市 指定管理者の評価に関する検討会議	評議員 臨時構成員	2017 年 4 月 1 日～2021 年 6 月 2021 年 7 月
社会福祉法人あゆみの森たけのこ会 特定非営利活動法人学童保育協会	評議員 放課後児童支援員認定資格 研修会講師	2021 年 3 月～ 2017 年度～

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
学生委員 就職委員 吹奏楽部顧問